

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加茂高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月5日(月) 15:00~17:00
- 3 開催場所 加茂高等学校同窓会館2階会議室
開催にあたり、委員による授業参観(全日制)を実施した。
- 4 参加者

学校側	会長	若尾達也	全日制PTA会長
	委員	今井一彦	司法書士
		尾関里佳	地域代表
		松尾和樹	可児市議会議員 NPO法人縁塾
		武市由紀子	元特別支援学校校長
		森川賢二	校長
		小林竜二郎	教頭
		松久潤	教頭
		伊藤強	事務部長
		山中徹也	教務主任(全日制)
		箕浦涼	教務主任(定時制)
		酒井宏昌	生徒指導主事(全日制)
		武藤秀彦	生徒指導主事(定時制)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度具体的重点目標と年間反省について

学校側より、全日制・定時制とも、本年度の反省及び方策についての説明を行った。

【全日制の年間反省及び方策】

<学校運営>

- ・Forms等の利用により、生徒・保護者・教職員の声をより多くとらえることが可能となった。
- ・探究理数部の設置により、探究活動が単年度的な運営から継続的な運営となった。
- ・オンライン会議、Formsの利用によりペーパーレス化を進め、業務の効率化が図られた。
- ・働き方改革を推進するため、分掌再編や業務内容の見直しを含め、適材適所で人員を配置する。

<教務部>

- ・評価の3観点をもとにした評価軸の協議を進め、教科間でより共有できた。
- ・公開授業や授業研究の場をつくり、授業評価や生徒の取り組みについて共有することができた。
- ・3観点の評価軸をもとに教科間での生徒の取り組みの共有と、新課程における授業づくりについて調査と研究をさらにすすめていく。

<生徒指導部>

- ・予鈴遅刻者は減少したため、学年と連携して対応することはなかった。(取り組みの成果)
- ・教育相談係により、SCと相談員の役割分担も適切に行うことができた。
- ・交通安全指導として、MSリーダーズが校門等で啓発活動を行っている。事故件数は減少した。
- ・予鈴遅刻直前登校者は夏休み明けから特定される傾向があるため、個別に面談を実施していく。

<進路指導部>

- ・現時点で総合型と学校推薦型選抜を合わせて国公立大学に7名合格しており、今後、共通テスト型推薦の発表がある。現在、約80名の進路が決定しており、一般入試に臨む予定である。
- ・保護者説明会を3年生は複数回、1, 2年生は秋にオンラインで行い進路情報の共有を行った。
- ・1, 2年次に高い進学目標を設定できるような仕掛けを学年と連携して計画する必要がある。

【定時制の年間反省及び方策】

<教務部>

- ・少人数や習熟度別授業、補習を実施することで丁寧な学び直しの機会を設けることができた。
- ・職員間の連携を密にして、生徒の実態把握に努めることができた。
- ・各教科における取り組み（評価、日本語指導、機器の活用など）について、情報共有をしていく。
- ・日本語能力試験の受験者が少ないため、生徒の学習意欲を喚起し、受験者数の増加につなげたい。

<生徒指導部>

- ・保健室で悩みを相談できる生徒が多くいたため、問題の早期発見、早期対応につながった。
- ・マスク等の制限はなくなったが、大声で話す生徒は減少した。今後もマナー指導を継続する。
- ・職員連絡会での生徒情報交換を密にし、支援を必要とする生徒への組織的対応を充実させる。
- ・掃除を含め、生活のマナーやモラルについて、機会あるごとに継続的な指導を行う。

<進路指導部>

- ・ライセンスアカデミーと提携し、職業分野別進路ガイダンスや各種講習会が開催できた。
- ・現在、9名の生徒が進学または就職先未定となっているので、今後も支援を続けていきたい。

<特別活動>

- ・生徒だけでなく保護者からも、部活動や学校行事に肯定的な意見を多くいただいた。
- ・上級生が下級生を巻き込み、下級生の多国籍への不安感を解消する取り組みをする必要がある。

(3) 学校の様子及び年間反省に対する委員からの意見

全日制・定時制とも、年間反省に対して、学校運営協議会委員からご意見をいただいた。

意見1：スマートフォンが主流となるなか、「今未来手帳」はどのように活用されているのか。

⇒使い始めて5年目。手帳は文章にする力を養うことができる。志望理由書を書くことに役立ち、進路実現に繋がっている生徒も多いと感じる。今後も使い方を検討したい。

意見2：「今未来手帳」を使ったことで、大学や専門学校等に進学した後も、手帳を使おうという生徒がいると聞く。生徒によっては、手帳で安心感を感じるようだ。

意見3：普段から、タブレットを活用していると聞くが、その効果はどうか。予定や課題に優先順位をつけて取り組めるようになってきている生徒もいる。意図をもってタブレットが使えるようになって欲しい。SOS出し方教育にも一躍を担うと思うが、その点はどうか。

⇒デジタルのツールと紙ベースのツールをうまく使いこなせるようにしていきたい。自分をマネジメントする力を身につけて欲しい。手帳を使うことが、タブレットを効果的に使うことにつながるように指導していきたい。

意見4：（音響も含めた）教室の機器が整ってきていると感じた。これからもデジタル化は進むだろう。学校の大きな目標の一つに、学力の向上があるが、こうした機器を効果的に活用して、文武両道の校風を大切にしつつ、自分の意見がもてる生徒を育てて欲しい。

⇒音響設備は昨年、整備された。オンライン授業での積み重ねも生かされていると思う。

意見5：ICTがうまく活用されており、先生方の工夫や仕掛けが感じられた。ここ数年、コロナ禍で、なかなか思うような教育活動ができなかったと思うが、先生方の熱心な指導が生徒や保護者、地域にも伝わっていると感じている。

意見6：現在、不登校や長欠の生徒はいるか。どのような対応をしているのか。

⇒各学年に若干名いるが、面談や保護者との連携など、個別に対応をしている。また、学校に常駐するスクール相談員や、スクールカウンセラーに繋いだりもしている。

意見7：志望理由書の書き方の授業（2年生）を見せていただいた。過去にはなく、2年生から進路に関わる講座があり、とても素晴らしい取り組みだと感じた。進路に関わる講座や授業は、欠席した生徒にはどう対応しているのか。

⇒毎年積み上げてきたものを加茂高オリジナルとして活用し、2年生のうちから取り組んでいる。今回の講座は外部のものではないので、資料の提供や共有も含めて、欠席した生徒に対してもフォローをしている。志望理由書については添削指導もしている。

意見8：自分で目標を持ちにくい時代になったと感じる。話しやすい環境をつくることや、他の生徒と情報を共有することで、授業に向かう気持ちや進路目標がもてるようになるとよい。

意見9：不登校や長欠の生徒に対して、どのような対応をしているのか。

⇒面談や保護者との連携など、個別に対応をしている。また、学校に常駐するスクール相談員や、スクールカウンセラーに繋いだりしている。

意見10：行きづらから行かない、というのではなく、行きづらから誰かに相談しよう、という思いが持てるようになれば、行きづらさを解消するきっかけになる。社会に出る前に行きづらさ（生きづらさ）を解消できるとよい。

意見11：県内で不登校生徒が増加していると聞く。授業についていけない生徒に対しては、来年から始まる通級指導なども活用して、学ぶ場が確保できるとよい。学校生活で学べるようになると、行動面での問題もなくなり、生活も落ち着いてくると思う。

(3) 令和5年度探究活動の振り返りと来年度の活動予定

令和5年度の地域探究活動について振り返り、学校運営協議会委員からご意見をいただいた。

意見1：地域の方は、加茂高校で社会に出てから即戦力になる人材を育てて欲しい、という願いをもっている。高校で、豊かな人間性を育み、大学や専門学校等でさらに人とのつながりを広げて帰ってきて活躍してくれることで、地域と学校の関係はますますよくなるだろう。

意見2：高校生年代から地域とのつながりをもって欲しい。現在、美濃加茂市役所との連携した取り組みをしていると聞くが、それを継続することで、地域貢献の意識も芽生えると思う。

意見3：地域の方々の意見を聞くよい機会となっている。これからは、社会貢献や地域貢献ができる人材になることが求められている。高校生が実際に現場でどのように生かしていくか、今後が大切だと感じた。地域の協力が必要であり、これが次につながる機会になればよいと思う。さらに自分がどう生きるか、どうありたいかを考えられるようになって欲しい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、全日制のLHRについて、学校運営協議会委員に参観していただき、ご意見をいただいた。また、本校全日制で実施されている「地域探究活動」や、令和5年度の年間反省について、学校運営協議会委員の方々より貴重なご意見をいただき、来年度の方針や方向性についても賛同していただいた。今日求められている「自ら課題を見つけ、皆と協働し、課題解決にあたる人材」となれる生徒を育てるべく、「地域から信頼される学校」をめざし、「チーム学校」として、学校の論議だけではなく、地域の方からのご意見を取り入れて、学校運営を進めていきたいと考えている。